

読書活動推進NEWS

こちらのQRコードから、閲覧・ダウンロードができます→



あづま号がやってきた! ~只見小学校・只見公民館~

6月28日(水)、只見小学校と只見公民館を訪問し、県立移動図書館「あづま号」の様子を取材しました。「先生!この車の中すごいです!本物の図書館みたいです!」初めてあづま号を体験する1年生の感激の声が印象的でした。あづま号の活用により子供たちの読書活動の充実が図られています。



こんな本を借りました!

『妖怪のたおしかた』

著者:小松和彦 出版社:アスコム

「校長先生!妖怪の倒し方の本があります!」
なぜか、元気いっぱい校長先生に本を勧める子供の姿がありました。只見小学校で妖怪が流行っているのでしょうか。
弱点を知っていれば、山のように大きな妖怪をやっつけたり、逆に気のいい妖怪とは友だちになれたりするかも。そんな妖怪の弱点を、「たおしかた」として紹介している本です。

<只見小学校教諭より>

子供たちは、あづま号の中に入って目をキラキラさせていました。県立図書館の方が来てくださり、直接本のことを聞くことができます。子供たちにとって、本当に貴重な機会となっています。



あづま号の本を読みに行こう!

あづま号主任司書
神谷さんおすすめ

『ALMOND』

著者:ソン・ウォンピョン 出版社:祥伝社

怒りや恐怖などの感情を感じない主人公が、ある少年との出会いを通して、人生を大きく変えていく。そんな物語です。韓国文学ですが、普遍的な内容となっていて、中高生にお勧めの本です。



あづま号の図書は、福島県立図書館のあづま号用書庫にある膨大な図書の中から、司書によって選ばれます。今回は、只見小学校から要望のあったESD(持続可能な開発のための教育)に関する図書1箱も併せて届けられました。

「今回、只見町には2,500冊ほどの本を持って来ました。いつもたくさん借りていただいたので、前回の1.5倍の冊数です。」と主任司書の神谷さん。行き先の自治体や学校の要望に合わせて選書してくれるあづま号。嬉しいですね。

普段見られないあづま号用書庫の中です! =>

